

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	22	ユニット全体での外出は花見など計画できているが、日常的に外出する機会が少ない。	日常的に個別に外出できるよう支援する。	買物や図書館、喫茶店など行きたい時に出かけられるよう体制をつくり、すぐに対応できるようにする。	3ヶ月
2	38	年2回避難訓練を実施しているが、火災時の対応ばかりでそれ以外の水害・地震などの時の避難訓練はない。	いかなる災害にも対応可能にする。	火災の時ばかりではなく、他の災害時の訓練を実施する。できれば地域と一緒に。	6ヶ月
3	24	甥や姪などがキーパソンであり、直接的な親族のおられない方の居室に関しては、入所時のままで、手が加えられないままになりがちである。	馴染みの家具や置物などがそろえることができなくても、本人が和める居室空間を考える。	日常の会話などから、本人の興味の示すものなどを把握し、それに関する物やイベント時の写真などを定期的に入れ替えてみる。	3ヶ月
4	(19)	準備段階(盛り付け)で先に食べてしまわれたり、食べ終えた食器を片付ける意識が落ちてしまわれている。	食べることのみでも楽しめるよう支援を行なう。	家族より花をいただいたら、テーブル上に飾って華やかにしたり、TVを消しなるべく会話を多くするようにする。	6ヶ月
5	(9)	コミュニケーションが可能な入居者には希望を聞くことができるが、それが難しい入居者もいる。	基本的には、本人の希望に沿うように支援をする。	コミュニケーションが可能な入居者には、今まで通り希望を聞き、それが難しい入居者は本人にとって何が一番良いかを考えて支援していく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。